

# いしかわ



まなびの心  
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課  
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部  
☎ (076)240-3344



## 放送予定表

平成30年 前期 4月～10月 手話通訳つき放送

### テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

## シリーズ・いしかわミュージアム散歩 (全15回)

石川県には多種多様な美術館や博物館があります。加賀百万石の歴史や薫り高い文化、その地域の風土などに触れながら、美術館・博物館の楽しみ方を学び、展示物に隠されたふるさと石川の魅力を深掘りして再発見していきます。(このシリーズは10月以降も続きます)

### 第1回 4月15日(日)放送 石川県能登島ガラス美術館

能登島で世界各国の現代ガラス作家の造形作品を中心に所蔵・展示している能登島ガラス美術館は、ガラス芸術の情報発信基地としてガラス専門の文化施設のパイオニアとなっています。建築も独創的なデザインが施され、屋外庭園は対照的な洋風と和風に分けられて洋と和が出会う文化交流の場の意味が込められています。

### 第2回 5月6日(日)放送 石川県立歴史博物館

2015年にリニューアルオープンした石川県立歴史博物館は、石川の歴史・文化を守り伝える施設として原始から近現代まで幅広い歴史を分かりやすく展示し、石川を身近に感じて、まるごと楽しむことができる施設になりました。体験型イベントや学芸員による講座など、県民の生涯学習の場としてさまざまな活動を行っています。

### 第3回 5月27日(日)放送 宇宙科学博物館 コスモアイル羽咋

「UFOの町」として地域おこしをしている羽咋市のシンボリックな博物館として人気を集めている宇宙科学博物館コスモアイル羽咋には、宇宙開発の歴史や惑星探査で実際に使われていた機材などが展示されており、宇宙の神秘だけではなく地球環境の大切さや宇宙に関する研究について学ぶことができます。

### 第4回 6月17日(日)放送 泉鏡花記念館・室生犀星記念館・徳田秋声記念館

ふるさと石川が誇る三文豪ですが、その作品や人となりなど知らないこともまだまだたくさんあります。ゆかりの場所に建てられた各記念館では著名作品たちが分かりやすく展示されています。また朗読会を開くなど、文豪たちが何を記し伝えたかったのか、その思いや文学の魅力を発信しています。

### 第5回 7月8日(日)放送 白山砂防科学館・白峰恐竜パーク

「SABO」という言葉が世界の共通語になるほど日本の砂防技術は高く、その発祥の地となる白山は地すべりを起こしやすい山としても知られています。白山は溶岩が固まった堅い地層の下に恐竜が棲んでいた時代の層があり、これが地すべりの原因とも言われていますが、化石の宝庫としても注目されています。

### 第6回 7月29日(日)放送 うみとさかなの科学館・のと海洋ふれあいセンター

九十九湾に隣接する「のと海洋ふれあいセンター」と「うみとさかなの科学館(石川県海洋漁業科学館)」は、豊かな自然を活かした磯の観察路で多彩な生きものと触れ合ったり、標本や体験コーナーといった趣向を凝らした展示で能登の里海の生態系を身近に感じることが出来るなど「海に親しみ、海を知る」ことができる施設です。

### 第7回 8月19日(日)放送 自然史資料館・四高記念館文化交流館

白山や能登の里海など多様な自然環境に恵まれている石川県の自然の成り立ちを学べる自然史資料館では動植物や化石などをテーマにした講座を定期的に行っています。また、旧第四高等学校で使われていた物理実験機器は貴重な史料でもあり、四高記念館文化交流館では巣立った偉人たちを紹介しています。

### 第8回 9月16日(日)放送 伝統産業工芸館・安江金箔工芸館・加賀友禅会館

「工芸王国」と言われる石川には36業種の伝統工芸が今も受け継がれています。長い時を経ても色あせることなく現代の暮らしに生きている伝統の技と美と心。伝統工芸士の実演も見学でき、石川の匠の技を身近に感じることができます。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)  
県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。  
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階  
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

### 大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

### 10月7日(日)放送 太古からの贈り物 ～能登の珪藻土～

1500万年の長い年月をかけて能登の自然が作り出した珪藻土は1000度の高熱にも耐えるだけではなく、保湿性や軽さなどに優れ、輪島塗を頑丈に仕上げる地の粉や珠洲市と七尾市で製造されている七輪やピザ窯などに使われています。能登珪藻土研究会では地元企業と連携して珪藻土の新たな魅力を発信しています。



シリーズ・  
きらめくアイデア®